

特別支援教育における教諭・作業療法士の協働的実践

企画者	塩津裕康（中部大学）
司会者	酒井康年（日本作業療法士協会／うめだ・あけぼの学園）
話題提供者	本間嗣崇（神奈川県立座間養護学校） 丸尾大樹（東京都立足立特別支援学校） 佐藤陽子（足立区立花畑西小学校） 内山昌美（神奈川県立座間養護学校）
指定討論者	田中裕一（兵庫県教育委員会）

KEY WORDS: 作業療法 連携 協働

【企画趣旨】

作業療法士が定義する作業とは『対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為』¹⁾である。学校文脈においても、朝の身支度、登校、教育、遊び、交流、など児童生徒の学校生活はさまざまな作業で占められている。

しかし、全ての児童生徒がこれらの作業を「楽に、効率的に、安全に、自立して」行えるわけではない。そこには、児童生徒（発達特性など）、課題（難易度など）、環境（道具や人など）、といったさまざまな要因が影響している。作業療法士はこれら要因の相互作用を評価・介入し、児童生徒たちが作業に従事することを支援する。そのため、教育の専門家である『教諭』と、作業の専門家である『作業療法士』が協働することで、児童生徒にとって大きなベネフィットがあると考えられる。諸外国に目を向けると、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリアなどでは、学校における作業療法の展開がインクルーシブ教育の一端を担っている。世界作業療法士連盟は、学校での作業療法を推進することを奨励しており²⁾、世界的に教育と作業療法の協働的実践は拡大している。

我が国においても、支援が必要な生徒に適切な支援が届けられるよう、現在日本作業療法士協会は『学校を理解して支援ができる作業療法士』を育成している。

そこで、本シンポジウムは作業療法士と協働的实践経験がある教諭を話題提供者とし、実践例を報告する。それを受けて、前文科省特別支援教育調査官である田中裕一氏より、包括的な視点で特殊教育における作業療法士の活用について討論する。これらにより、今後の特別支援教育における作業療法士との協働的実践の展望について検討することを目的とする。

【話題提供者の趣旨】

1. 作業学習における作業療法士との協働

話題提供者：丸尾

本校は知的障害教育を行う高等部単独校である。本校の研究活動における作業学習の深化と充実を目指す中で、外部専門家による助言を基にした授業改善を図るため、作業療法士の導入を計画し、実践を進めている。当日は、実際に依頼をしている内容や得られている成果及び今後の展望について、特別支援学校と外部機関との連携・協働の在り方の視点から報告する。

2. 特別支援教室(通級指導)における作業療法士との協働

話題提供者：佐藤

特別支援教室では、教諭が教育の専門家として指導を行うが、1人ひとり状態も困り感も異なる児童生徒を前にしたとき、他の専門家からのアドバイスを期待することが多くある。本校でも作業療法士からアドバイスを受けること

により、授業場面において即時的効果を経験した。また、研修や研究に講師として作業療法士を招き授業力の向上や、研究授業のスーパーバイザー、個別のアセスメント等における作業療法士との協働経験について報告する。

3. 生活上の課題(給食・遊び・コミュニケーションなど)に対する作業療法士との協働

話題提供者：内山

神奈川県立の特別支援学校には、作業療法士が自立活動教諭(専門職)という名称で12名、常勤の教諭として雇用されている。この特別支援学校に勤務する作業療法士は、特別支援学校のセンター的機能を担うだけでなく、各配置校内において日常的に担任と連携し、協働を図っている。今回は、話題提供者が近年担当した肢体不自由教育部門の小学部・中学部・高等部の児童生徒の中で、校内の作業療法士と協働することでベネフィットがあったと思われるケースを、個人情報に配慮した上で数例紹介する。

【指定討論者の趣旨】

特別支援教育における教諭・作業療法士の連携

指定討論者：田中

田中氏は、2016年に開催された第50回日本作業療法学会基調講演³⁾において「インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進と合理的配慮の提供～作業療法士と教育の連携～」というテーマで講師を務められた。その中で、合理的配慮の提供が児童生徒にとってより良いものになるには、保護者と教諭、専門家(福祉・医療)との連携の重要性を説明された。

田中氏には、今回の話題提供内容を踏まえ、特別支援教育における教諭と作業療法士との協働について今後取り組むべき課題と論点を整理していただく。

(文献)

- 1) 日本作業療法士協会：作業療法の定義。
(<https://www.jaot.or.jp/about/definition/>)
- 2) WFOT: Position statement on occupational therapy services in school-based practice for children and youth. 2016.
(<https://www.wfot.org/resources/occupational-therapy-services-in-school-based-practice-for-children-and-youth>)
- 3) 田中裕一：インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進と合理的配慮の提供～作業療法士と教育の連携～。作業療法, 36(2):135-141, 2017.

(SHIOZU Hiroyasu, SAKAI Yasutoshi, HOMMA Hidetaka, MARUO Daiki, SATO Yoko, UCHIYAMA Masami, TANAKA Yuichi)